

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 倉敷中央 高等学校
実践場面	「はつらつ健康教室」のサポート
実践日時（時期）	第1回：令和5年6月14日（水） 第2回：令和5年8月24日（木） 第3回：令和5年10月5日（木）
対象生徒（学年）	福祉科2年生
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） ■その他（ 「令和4年度岡山県産業教育振興会」の参加がきっかけ ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 ■その他
実践の内容	
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉敷中央高校では、福祉科の学びの一つとして、認知症を理解するため「認知症サポーター養成講座」を受講している。 一方で、玉島信用金庫では超高齢化社会を社会的課題として捉え、課題解決するための認知症予防教室を実施している。 <p>【実践内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に倉敷中央高校を会場として開催された「岡山県産業教育懇談会（主催：岡山県産業教育振興会）」へ玉島信用金庫が参加し、学校の福祉科の取組を知ったことをきっかけに連携が始まった。 玉島信用金庫が地域の高齢者対象に、「脳の健康づくり」を目的に開催する「はつらつ健康教室（会場：玉島信用金庫 本店）」の運営スタッフとして、福祉科の2年生31名が参加した。 生徒は「脳の健康づくり」教室の学習サポーターとして、「読み書き」や「計算」などの学習教材に、参加者が取り組むサポートをしたり、レクリエーション実践として、参加者と一緒に、お手玉・折り紙などの昔遊びや体操などを行ったりした。 第3回は、自分たちで発案した「認知症予防のための健康体操」を行った。効果や体の動かし方等を説明し、音楽に合わせて、一緒に取り組んだ。 	
実践による効果等	
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の課題解決を行っている企業と連携することで、自分たちの学びをより実践的なものにすることができた。 地域の高齢者の方々と交流することで、その方々が持つ経験や知識に触れる機会となり、幅広い視野を持つきっかけとなった。 生徒の参加は、地域の方からも好評で、「また参加したい」という声もいただいている。 	



※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）